

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		日本古典講読論Ⅰ Reading in Japanese ClassicsⅠ				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 長谷川 千尋	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	火3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)									
【授業の概要・目的】									
「源氏見ざる歌詠みは遺恨の事也」とは藤原俊成の言葉であるが、歌人や連歌師は、『源氏物語』のどのような言葉・場面に魅力を感じ、その詩想を養ったのであろうか。このような観点から、文安六年（1446）、祐倫の手になる『山頂湖面抄』という源氏物語梗概書を読む。併せて『源氏物語』本文や、それを享受した作例等にも触れ、巻ごとに源氏絵を参照する。									
【到達目標】									
・講義中に取り扱った『源氏物語』本文、及びその梗概書や享受作品の内容を理解し、説明できる。 ・歌人・連歌師による『源氏物語』享受の特色を理解し、説明できる。									
【授業計画と内容】									
1．『山頂湖面抄』概説・桐壺 2．桐壺・帚木 3．空蝉・夕顔 4．若紫・未摘花 5．紅葉賀・花宴 6．葵・賢木 7．花散里・須磨 8．明石・漣標 9．蓬生・関屋 10．絵合・松風 11．薄雲・朝顔 12．少女・玉鬢 13．初音・胡蝶 14．まとめ									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
試験（筆記）により評価する。									
【教科書】									
使用しない プリント配布。									
-----日本古典講読論Ⅰ(2)へ続く↓↓↓									

日本古典講読論Ⅰ(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業前に『源氏物語』の当該巻を通読しておくとい。
講義内容の復習。

[その他(オフィスアワー等)]